

Windowsデータ入稿の注意点

Windowsで作成された原稿（ワード、エクセル、一太郎）を印刷会社で開くと以下の問題点が発生することがあります。

1. フォントが違うものに置き換わる

これは作成された側と同一のフォントが印刷する側に入っていない場合に発生します。

2. 体裁が変わる（1行の文字数が変わって改行位置が変更される）

これは、Windowsでは接続されているプリンターによって1行に入る文字数が決定されるので、印刷会社のプリンターでは同じ文字の大きさでも1行に入る文字数が違ってしまうためです。

3. 飾りが再現されない

◎文字にB（ボールド）を設定していると、太って、つぶれたような現象が出ます。**ゴシックにしたのちにさらにBを設定するのは止めましょう。**

◎影付きでの透過性、半透明、模様での塗りつぶしなどの飾りは印刷機では表現できないことがあります。（ご使用のプリンターで表現可能なものに変換されていますので同様のプリンターでなければ再現は不可能です）

◎影の色はあくまでも薄い色を指定してください。

◎0.01mm以下となるような極細線は印刷機では再現できません。（ご使用のプリンターで表現可能なものに変換されていますので同様のプリンターでなければ再現は不可能です）

◎背面の塗りについて

「オートシェイプ」の「四角形」や「楕円」などで色を指定し、「レイアウト」で背面に持って行ってください。

（「書式」の「背景」では色指定を行わないでください。印刷機では再現できません）

4. カラーの場合、思っていたより色がくすんでしまう。

これは、Windowsマシンと印刷では色の再現方法が全く違うためです。Windowsでは光の3原色であるRGBという表わし方ですが、印刷ではCMYKという表現で、全く方式が違うためです。

解決策

●印刷に対応したPDFファイルで入稿する。**一番確実です。**

（PDFファイルの作成方法参照）

●ワードの場合、フォントの埋め込みにチェックを入れる。

（ワードでのフォントの埋め込み参照）

●予めマシンに入っていた書体（MS明朝、MSゴシックなど）ではなく、自分で後で購入したりしたフォントを使用している場合は、そのフォントを印刷会社に送る。

（Windowsマシン内のフォントはどこに入っているの？参照）

フォント名にHGがついたフォントはPDFにしたとしても埋め込まれないので、必ずフォントを送る。

●イラストレーターで作成した場合は、フォントは全てアウトライン化する

※不明な点はお問い合わせください。